

2020年8月24日

東方名華祭 14 の開催について（最終報）

東方名華祭実行委員会

2020年8月9日開催の東方名華祭および併催イベントは、予定通り終了いたしました。また、昨日をもちまして開催から2週間経過しましたが、参加者および関係者より新型コロナウイルス感染症に感染したとの報告はありませんでした。会場にも問い合わせましたが、同様に感染の報告や関係当局からの連絡はなかったことから、当イベントが起点となったクラスターの発生はなかったものとみられます。

そのため、これをもちまして、第14回東方名華祭は正式に「無事終了した」とご報告させていただきます。

当日は様々な運用変更や告知不足等により、ご迷惑をおかけする場面もございましたが、概ねスムーズな運用を行うことが出来ました。感染対策にご協力いただきました一般、サークル、スタッフの全ての参加者に、改めまして深く御礼申し上げます。また、連絡先登録システムに登録いただきました個人情報、予告通り削除いたしました。

今回の開催については様々なご意見がございましたが、東方Projectはもとより、同人誌即売会という文化の「場」を掲げている我々にとって、その場を守り維持することは重要な使命の一つと考えております。キャパシティに余裕のある会場で、感染対策を徹底した上であれば、中規模の同人誌即売会が開催できる。そうした事例を示すことができたことは、今後の同種催事の開催にとっても大きな意義があったと考えております。

しかしながら、今回の催事については、我々だけの力で開催できたとは考えておりません。

当イベントは、今年は例年と異なり真夏の中での開催となりました。これが、結果的には感染対策を検討するための時間的猶予をもたらしてくれました。その上で、国内の感染拡大を阻止するべく、医療従事者やその関連事業者の尽力によって、感染流行の第一波の封じ込めに成功し、社会の混乱の拡大を初夏のうちに押しとどめることができました。その間に、専門家の方々により未知のウイルスの感染様態の解明が進められ、「三密の回避」というクラスター対策の基本方針を確立していただけました。また、催事運営の各種ガイドラインの制定により、「我々が何をすべきなのか」も少しずつ明確となりました。

我々は同人という文化のなかで「表現する楽しさ」を育てておりますが、あくまでも社会の一員であり、社会の人々やインフラの恩恵の上で成り立っている身であるということも、改めて痛感しております。この場を借りまして、関係各所に深く感謝の意を表します。

一方で、同人誌即売会の持続可能性の面では、多くの課題を残したとも考えております。最終的に、サークル参加者の4割ほどが欠席、一般来場者数は例年の1/3程度となり、当日ご参加いただきましたサークル・一般参加の皆様のご期待に添えるものではなかったと認識しております。もちろん、我々の告知広報にも不足があったことは大きな反省材料ですが、それを踏まえた上でも、人が集まるのが魅力のひとつである同人誌即売会にとって、昨今の情勢は非常に厳しいものであると言わざるを得ません。今はまだ「開催すること」「参加すること」が目標となっておりますが、Withコロナの時代において表現の場を守り続けていくためには、「開催し続けられること」「創作し続けられること」も考えていかなければなりません。催事主催者としては、皆様に安心して参加いただくためにはどうすれば良いのかを、引き続き模索・検証していく必要があると考えております。そして皆様におかれましては、もし気になったサークル・新刊の書店委託等がございましたら、引き続き積極的に応援・買い支えていただけますと幸いです。

最後に次回ですが、2021年6月20日に同じ会場での開催を予定しております。今年も東方名華祭の魅力であった、多数の企画やコスプレの受け入れを断念せざるを得ませんでした。こちらもなんとか実現するための方法を検討し、魅力ある東方名華祭という場を再び皆様とともに創っていけるよう、次の開催に向けた準備を始めて参ります。

長くなりましたが、改めまして、ご参加いただきました皆様に重ねて御礼申し上げますとともに、もしご縁がございましたら、次回の東方名華祭もどうぞよろしくお願いいたします。

以上